

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 78 号 (H30.1.23)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 平成 30 年となりました。皆様には良い新年を迎えられたことと思います。今年も寒波が日本全体を覆っていますね。日本海側はもとより全国的に雪が降り、各地で被害が報じられていました。宮崎市も氷点下となり震え上がりましたが、皆さんの地域ではいかがだったでしょうか。

さて、当法人も設立から足かけ 7 年目となります。昨年も本当に多くの皆様からのご支援をいただき新たな取組も進めることができた一方、車の故障や活動等に伴う出費が予想を超えるなど、活動の厳しさも感じています。

ともあれ、新しい年を迎え、改めて皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

会の経過報告等

・現在、平成 29 事業年(1 月～12 月)の活動まとめ、決算等を行っています。詳しくは次回のニュースでお知らせします。

・1 月 21 日、宮崎県都城市で国際交流イベント「ワールドフェスタ」が実施され、昨年に引き続き当法人もザンビアの状況や活動報告等について展示を行いました。

・平成 29 年一年間の主な活動状況は以下のとおりです。

- ・1 月 31 日、理事会を開催、28 年活動報告、決算、29 年活動計画案、予算案等を協議、承認
- ・2 月 18 日、通常総会を開催、28 年活動報告、決算、29 年活動計画案、予算案、並びに 29 年 4 月からの役員改選(全員再任)について協議、原案通り承認
- ・2 月 20 日、宮崎市に活動実績報告書等届け、宮崎県に認定 NPO 法人としての報告書提出、及び法務局に資産総額の変更届けを行う
- ・4 月 3 日、宮崎県税事務所に法人県民税減免申請を提出
- ・4 月 10 日、宮崎市に法人市民税の減免申請を提出
- ・4 月 21 日から、JICA 基金事業としてのマラリア蚊殺虫剤噴霧事業をルアノ地区で実施
- ・5 月 26 日から、新たにコミュニティヘルスワーカー養成のための 30 日間の研修セミナーを 10 人に対して開始
- ・6 月 23 日、30 日、エイズ等性病予防啓発のためのサッカー大会を 2 地区で開催
- ・7 月 7 日、臨時理事会にて、車の折れたシャフト修理に伴う支出について協議、50 万円の支出を承認
- ・7 月 10 日、山元香代子先生が宮崎大学医学部看護学科にて看護学生や関係者など約 250 人に、ザンビアの辺地における巡回診療や疾病予防、健康教育活動などについて講演
- ・7 月 22 日、臨時総会にて、特定非営利活動促進法改正に伴う「貸借対照表の公告」義務化に対応するための定款の一部改正を審議、定款の一部改正が承認



- ・8月28日、三重県四日市市の四日市東ロータリークラブ主催の講演会にて山元香代子先生がザンビアでの活動について講演
 - ・10月27日から、法人事業としてマラリア蚊殺虫剤噴霧事業を実施
 - ・11月24日から、新たなコミュニティヘルスワーカー養成研修の後期分を実施
- ・この他に、安全な飲料水を確保するための深井戸をルアノ地区に2基建設したほか、ルアノ・ニャンカンガ地区でのトイレ施設が完成した。



現地活動報告（ザンビアより芦田様から）

・ザンビアではコレラが流行していて、全ての学校も月末まで休校となっています。（子どもの世話に家事と、私が忙しいです…）

◎1月10日活動報告

・巡回診療 ルアノ地区

同行者： ムレタさん、モーゼスさん、チブリカさん、ギルバート、ダニエル（レンタカー）

CHW： 8人（3人ルアノ、3サンダラ、1ニロンゴ、1チブンブレ）

患者数： 109人 マラリア検査数109人うち陽性6人（2人は深刻な症状）

主な症状：下痢が多く、他はSTI（U5は27人）

重篤なケース： 無し

道路状況： 雨がかなり降ったため、砂が流され、でこぼこがある。

*蚊帳販売： 10個販売（残り46個）

*車両整備

ボックス： 3社からの見積もりを取得するように言われ、残り2社からも取得すべく、バルーンの修理で見積もりを取ったところと同じガレージへ行ったのですが、まだ開いていない（恐らくクリスマス休暇）

バルーン： ガレージから連絡なし。フォローアップします。

エレファント： オイル補充予定

ザンビア大使館情報

12月5日、日本大使公邸において、ヴィンセント・ムワレ地方自治大臣（主賓）ほか多数の出席を得て、平成29年天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。

大使から、日本の専門家、ボランティア、NGO、企業とも協力しつつ、ザンビアの経済発展と、両国間関係の進展に努力していきたいとスピーチがあり、ザンビア政府を代表してムワレ地方自治大臣が、日本のこれまでのザンビアに対する開発協力への謝意と、日本との二国間関係が更に発展することへの強い期待を表明されました。

会場では日本企業が、人気の自動車や先端技術を駆使した製品の展示を行い、また、天ぷら、おでん、寿司といった和食や日本酒も提供され、多くの参加者の関心を集めました。

本レセプションにはザンビア政府、民間企業、教育・研究機関、マスコミ、スポーツ団体、日本企業、ODA実施機関、当地外交団等から約260人が集いました。



賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・当たらしい事業年度（事業年度は1月から12月）となりました。賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をお願いします。
- ・入金を確認しました際には、日高からその旨メール（又は郵便）を差し上げます。また当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp）までご連絡ください。

- ★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
- ★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351
加入者名 ： NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

*なお、金融機関からWEBにてゆうちょ銀行への振り込みをされる場合、御住所を別途記載していただきますようにお願いします。何もせずに振り込みをされますと、受け入れ明細書の送金人の欄にカタカナのお名前のみしか記載されず、事務局としてご寄附いただいた方がわからないことがあります。よろしくをお願いします。

以上

平成30年もどうぞご支援のほどよろしくお願いします